

非常通報通話装置 XEM-100 取扱説明書

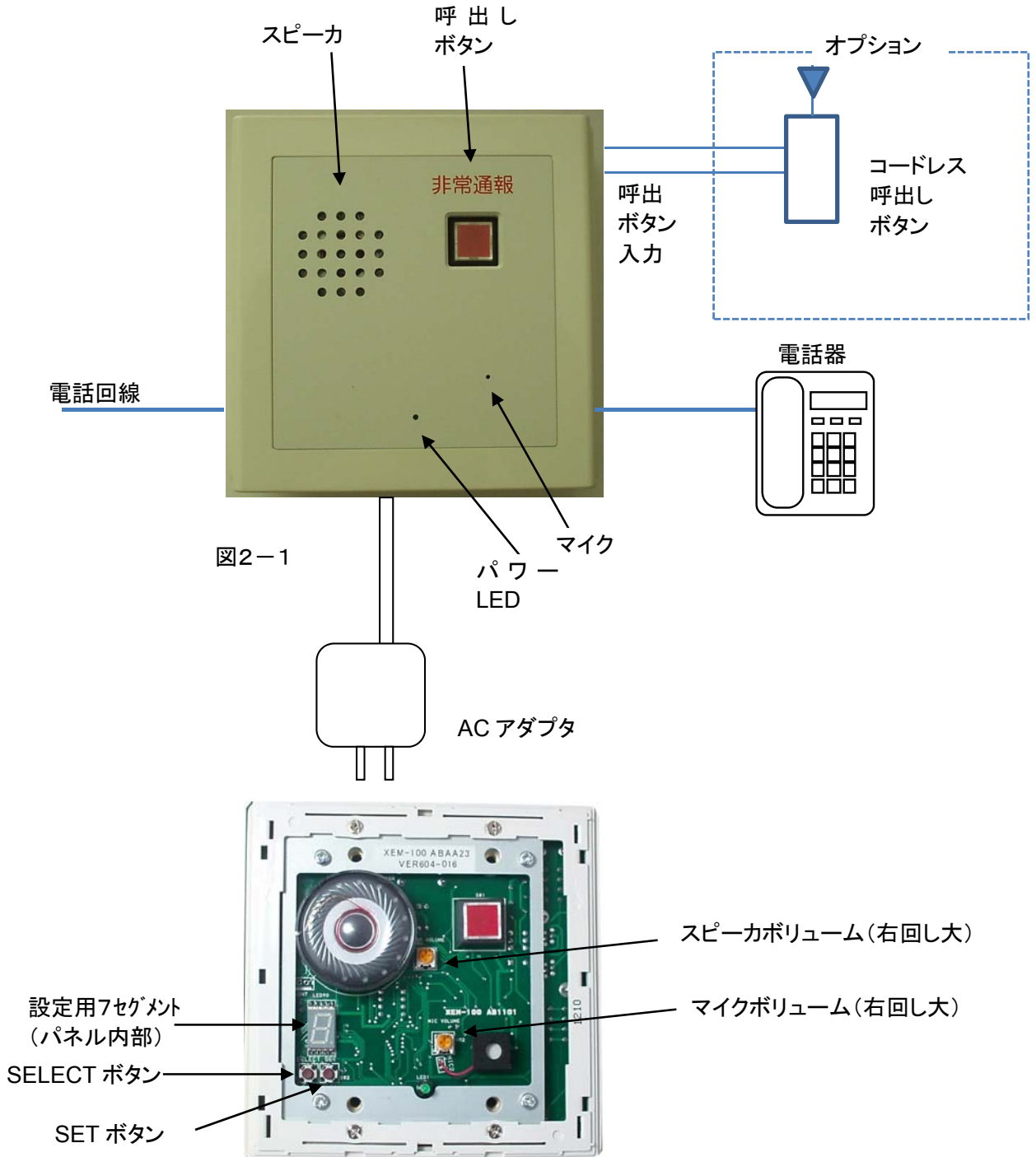
<目次>

1. 概要	2
2. 各部の名称	2
3. 本体の設置	3
A. 設置場所	3
B. ねじ止め	3
C. センサ入力結線	3
D. 電話線、電源、センサ入力の取付	4
4. 設定方法	5
A. 設定ボタンと7セグメントによる設定	5
B. YAHOO BB フォン対応機能	6
5. 使用方法	7
A. 呼出ボタン	7
B. 呼出しボタン入力	7
C. シリアル	7
6. 仕様一覧	8
7. 使用上の注意	8
付表	9

1. 概要

- ・ XEM-100 は、電話回線を通して、通報、通話を行う装置です。
- ・ 外部入力1系統があり、この入力はオプションのコードレスの呼出しボタンを接続できます。
- ・ トーン信号で室番号等を通報し、どの室番号からの通報か自動的にわかります。
- ・ 通報後、通話が可能です。
- ・ オプションで接点出力も出せます。

2. 各部の名称



3. 本体の設置

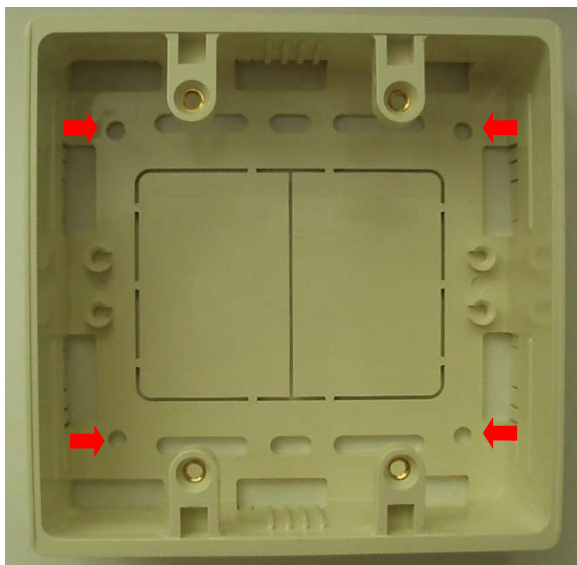
A. 設置場所

・本装置は壁掛け用です。

B. ねじ止め

・装置のフロントパネルを外し、本体基板を外してケース内の上下 4 箇所の穴を木ねじ等で固定してください。絶対に緩まないように設置してください。

・サイドへのノッキング穴が合計 10 か所あります。必要な方向へ穴をあけて通線してください。



C. 外部呼出しボタン入力結線

本装置の入力は、図のように 5.2V でプルアップされており、入力に接続されたドライ接点がメーク(ショート)したときオンと認識します。

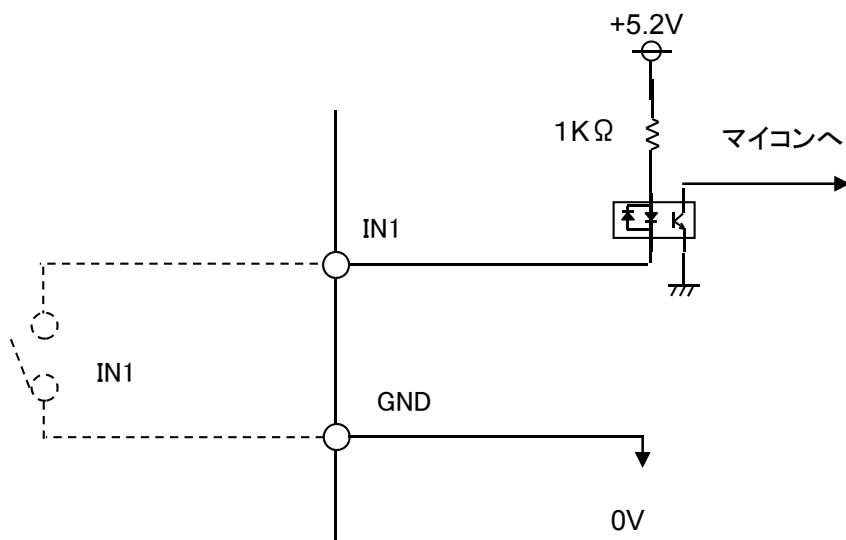


表3-1

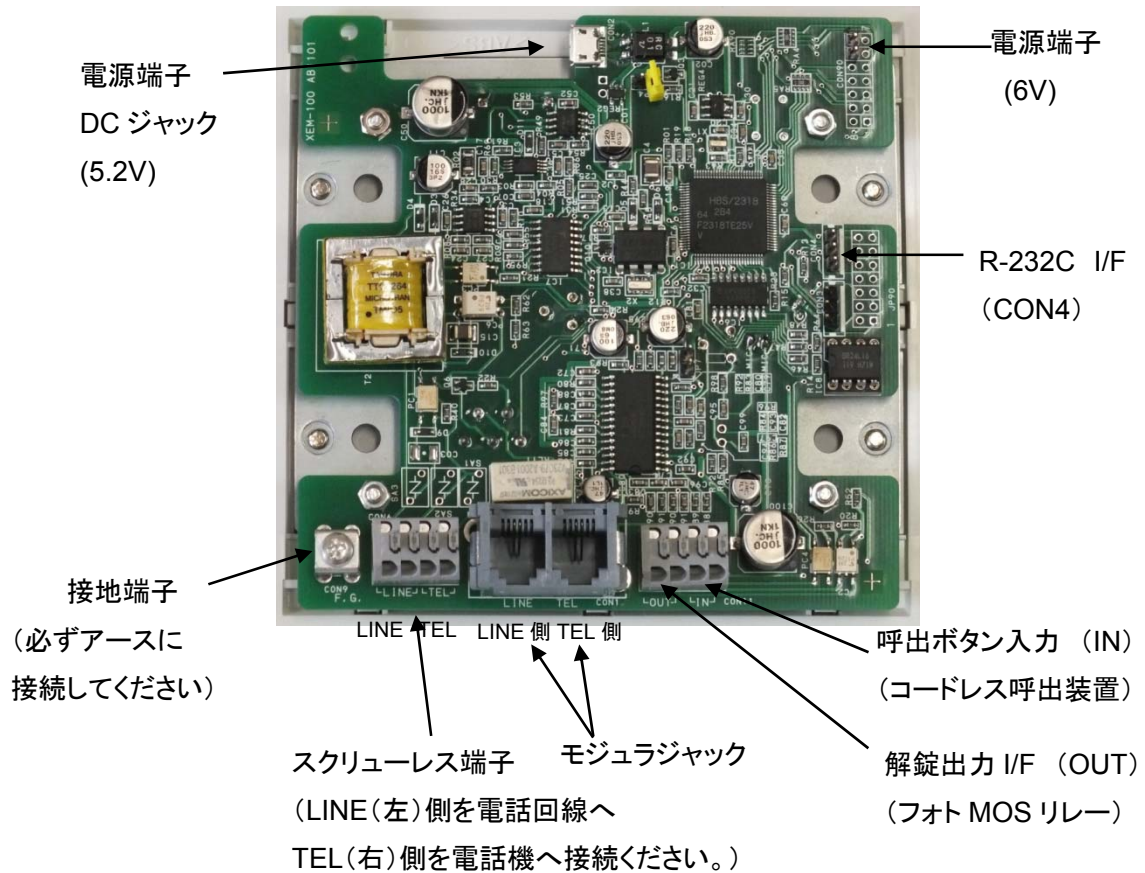
コネクタ	端子名	内容
CON2 入力	GND	共通 GND です。
	IN1	入力端子です。5.2V に 1K オーム抵抗を介してプルアップされています。GND との間で導通するとオンと認識します。

D. 電話線、電源、センサ入力の取付

この装置は通報時、TEL に接続した電話機の通話を遮断し、通報するため既設の電話機と電話回線の間には設置しなければなりません。

装置の裏側にはモジュージャックとスクリーレス端子の両方があります。

接続はモジュラプラグまたは銅線のどちらかを接続して下さい。



4. 設定方法

A. 設定ボタンと7セグメントによる設定

最初にパネルを外して設定ボタン「SELECT」と「SET」ボタンおよび7セグメント表示器が見える状態にしてください。



- ・7セグメントおよび設定スイッチをセットするにはフロントカバーを外す必要があります。
- ・通常7セグメントは消灯しています。SET ボタンを押すとメインメニューの番号が点滅します。
なお各設定は30秒以上次の動作を行わないと表示が消え通常状態にもどります。

- 1 : 室番号
- 2 : 通報先電話番号
- 3 : ダイヤル方式
- 4 : 確認
- : メモリ記憶&終了

SELECT を押すと 1 → 2 → 3 → 4 → - → 1 → 2 と番号が順に変わります。

SET ボタンを押すとその項目が選ばれます。

(1). 室番号

点滅している1を「SET」を押して選択すると「F」(Finish)が表示されます。

室番号をセットするためには上の桁からセットしていきます。

各桁で、「SELECT」を押すと数字が1つずつ増えます。

たとえば室番号が23号室であれば

2が表示されるように「SELECT」を押して「SET」を押します。

表示がFに戻りますので二けた目の3が表示されるように「SELECT」を押して「SET」を押します。最後に「F」が表示されている状態で「SET」を押します。

なお複数棟の場合、A棟の場合は室番号そのまま、B棟の場合は室番号に+2000、C棟の場合は+4000を足してください。

(2). 通報先電話番号

点滅している2を「SET」を押して選択すると「F」(Finish)が表示されます。

電話番号をセットするためにはSELECT ボタンを押して上の桁からセットしていきます。

各桁で、「SELECT」を押すと数字が1つずつ増えます。

たとえば電話番号が123-4567であれば

1が表示されるように「SELECT」を押して「SET」を押します。

表示がFに戻りますので二けた目の2が表示されるように「SELECT」を押して「SET」を押します。最後に「F」が表示されている状態で「SET」を押します。

なお電話番号は市外局番を外してかけた方が早くかかります。
また工場出荷設定では装置内に設定された管理人室内表示装置の電話番号に自動的にかかります。

(3). ダイヤル方式

点滅している3を「SET」を押して選択すると現在選択されているダイヤル方式が表示されます。SELECT を押すと0→1→2→0→1→2と番号が順に変わります。

SET ボタンを押すと設定され通常モードに戻ります。

0 : トーン信号 (通常ほとんどはトーン信号です)

1 : パルスダイヤル 10PPS

2 : パルスダイヤル 20PPS

工場出荷値は「0」となっています。

(4). 確認

点滅している4を「SET」を押して選択すると設定内容が表示されます。

表示内容は次の通りです。

室番号 早い点滅の「1」→室番号を1桁ずつ1秒ごとに表示

電話番号 早い点滅の「2」→電話番号を1桁ずつ1秒ごとに表示

ダイヤル方式 早い点滅の「3」→ダイヤル方式を1秒表示

(5). メモリ記憶 & 終了

「-」が表示されている状態でSETを押すとメモリに記憶され、終了します。

メモリに記憶されていないと電源を切った時に設定が消えてしまいますので

必ず「-」を表示した状態でSETを押して下さい。

B. YAHOO BB フォン対応機能

通常の電話回線は電話して相手が応答した時、および相手が電話を切った時に電話回線の極性を反転して通知します。古いタイプのYAHOO BBフォンはこの機能が無く、通報先の応答および切断を検出できません。そこでこのタイプの電話回線に対応するため、通常の状態とは別に通報ボタンを押したら直ちに通話モードに入り、相手の切断は話中音(プープーという音)で検出するようにします。

設定方法

- (1) SELECT ボタンを押したまま、SET ボタンを押します。有効、無効がトグルでセットされます。
- (2) 「0」と表示されたらこの機能は無効にセットされます。
- (3) 「1」と表示されたらこの機能は有効にセットされています。

5. 使用方法

A. 呼出ボタン

- ・通報先を呼び出す時は呼び出しボタンを押します。
呼出しボタンは赤色に点灯し、通報先を呼び出します。このとき、装置の TEL に接続された電話機は強制的に切断されます。通報先の室番号表示装置と自動的にやり取りして通報先の表示卓には室番号が表示されます。
- ・途中で呼出しをやめたい時はもう一度呼出しボタンを押すと、呼出しは解除されます。
- ・通報先で電話を取られると、通話を開始できます。
通報先が電話を切ると、消灯し通話が終了します。
- ・通報先が電話機の「*」ボタンを押すと OUT 出力がメークします。(オプション)
- ・通話音量が低い時はフロントパネルを外して図2-2の状態にしてマイク及びスピーカの音量を調整してください。上げ過ぎるとハウリングを起こすことがあります。

B. 呼出しボタン入力

- ・呼出しボタン入力にオプションのコードレス呼出しボタンを接続することにより通報を行う事ができます。接点信号は通報時メークです。このボタンを再度押しても通報のキャンセルはできません。本体の呼出しボタンを押してキャンセルしてください。

C. シリアル

シリアルを使用する場合は CON3 に USB-シリアル変換ケーブルを接続して使用してください。
(XOP-TTL-232R-WE)

シリアル経由では次のコマンドが使用できます。

通信条件:9600BPS 8ビット ノンパリティ

制御コマンド

- ・ATD`00` (電話番号`00`へ発呼)
- ・ATH (切断)

状態表示

- ・CONNECT (呼出先へ接続)
- ・DISCONNECT (切断)
- ・RING (着信中)
- ・BUSY (回線使用中または自動再発信規制)

AT コマンドによる自動再発信(応答のない相手に対し引き続いて繰り返し自動的に発信をいう。以下同じ。)を行う場合にあっては、その回数は最初の発信から三分間に二回以内となり、3 回目は DELAYED となり発信できません。

6. 仕様一覧 1

項目	内容	備考
電源電圧	AC100V (50Hz 60Hz) ACアダプタ出力5. 2V	AC アダプタケーブル 1.5m
消費電力	1W(TYP)最大 2W	
設定方式	フロントパネル内7セグメントおよび DTMF(トーン)信号で設定	
制御方式	DTMF(トーン)信号で制御	
使用環境	温度 0~40°C (湿度20~80%)	ただし結露なきこと
サイズ(W x H x D)	120 x 120.5 x 46.8mm	ねじ突起物を含まず
質量	350g	オプション含まず

7. 使用上の注意

- ・ この装置を人の生命や、経済的に重大な損失を与える可能性のある機器へ使用する場合はご相談ください。定期的なチェックをお勧めします。
- ・ 医療用、航空用には使用できません。
- ・ この装置は通常の電子回路で構成されています。使用される場合は、必ず定格を守ってご使用ください。

付表

XEM-100 外観図

